

みどり保全創造事業費会計 (特別会計)

■ 基金及び特別会計について

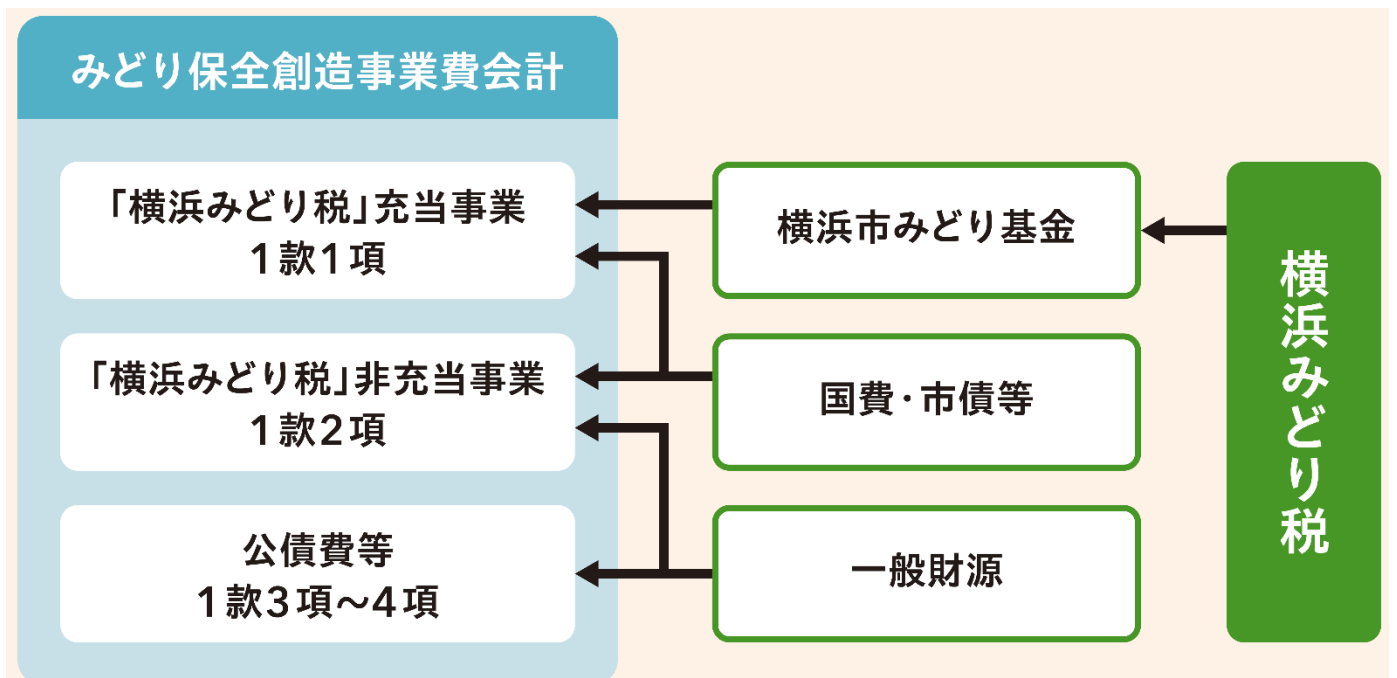
基金（横浜市みどり基金）

横浜みどり税は、市民税の超過課税の形でご負担をお願いするものですが、その税収の用途は横浜みどりアップ計画に限定されます。そこで、この税収を管理する基金を設置することにより、他の一般財源から明確に分離するとともに、年度間の財源調整も行います。

特別会計（みどり保全創造事業費会計）

横浜みどり税の用途を明確にするためには、横浜みどり税を充当して実施する事業のみならず、横浜みどりアップ計画全体について、その内容や進捗状況を他の施策と分離して明らかにしていく必要があります。そこで、横浜みどり税非充当事業（既存事業費等）を含めた横浜みどりアップ計画全体を対象とする特別会計により、横浜みどり税の用途を明確にします。

■ みどり保全創造事業費会計（特別会計）の財源について



■ みどり税の用途

横浜みどり税の用途は、次の4項目に整理しています。

- ・ 樹林地・農地の確実な担保
- ・ 身近な緑化の推進
- ・ 維持管理の充実によるみどりの質の向上
- ・ ボランティアなど市民参画の促進につながる事業

＜令和6年度みどり保全創造事業費会計予算案総括表＞

(歳出)

区 分	本年度	前年度	増△減	増減率
	千円	千円	千円	%
1款 みどり保全創造事業費	10,859,410	12,573,691	△ 1,714,281	△ 13.6
1項 みどり保全創造事業費	5,463,041	5,649,794	△ 186,753	△ 3.3
1目 樹林地保全創造費	3,682,176	4,005,024	△ 322,848	△ 8.1
2目 都市農地保全費	821,350	487,104	334,246	68.6
3目 緑化推進創造費	959,515	1,157,666	△ 198,151	△ 17.1
2項 みどり保全事業費	3,038,348	4,738,125	△ 1,699,777	△ 35.9
1目 樹林地保全費	2,274,288	3,833,065	△ 1,558,777	△ 40.7
2目 都市農業育成費	243,525	292,507	△ 48,982	△ 16.7
3目 緑化推進費	505,400	582,433	△ 77,033	△ 13.2
4目 広報推進費	15,135	30,120	△ 14,985	△ 49.8
3項 基金積立金	2,000	1,000	1,000	100.0
1目 みどり基金積立金	2,000	1,000	1,000	100.0
4項 公債費	2,355,021	2,183,772	171,249	7.8
1目 元金	2,049,601	1,934,085	115,516	6.0
2目 利子	261,033	203,612	57,421	28.2
3目 公債諸費	44,387	46,075	△ 1,688	△ 3.7
5項 予備費	1,000	1,000	0	0.0
1目 予備費	1,000	1,000	0	0.0
計	10,859,410	12,573,691	△ 1,714,281	△ 13.6

(歳入)

区 分	本年度	前年度	増△減	増減率
	千円	千円	千円	%
1款 使用料及び手数料	2,621	2,621	0	0.0
2款 国庫支出金	1,137,040	1,870,000	△ 732,960	△ 39.2
3款 県支出金	150	150	0	0.0
4款 財産収入	2,000	1,000	1,000	100.0
5款 繰入金	6,829,884	6,754,786	75,098	1.1
一般会計繰入金	3,600,064	3,848,772	△ 248,708	△ 6.5
みどり基金繰入金	3,229,820	2,906,014	323,806	11.1
6款 諸収入	6,715	5,134	1,581	30.8
7款 市債	2,881,000	3,940,000	△ 1,059,000	△ 26.9
計	10,859,410	12,573,691	△ 1,714,281	△ 13.6

■ 横浜みどりアップ計画の推進

市民生活の身近な場所にある樹林地や農地などの多様な緑を次世代に引き継ぐため、これまでの取組の成果などを踏まえ、「横浜みどり税」を財源の一部に活用した「横浜みどりアップ計画[2024-2028]」を推進します。

■ 事業費一覧(公債費等を除く)

(単位：百万円)

事業と取組	主な取組内容と事業量	総額	みどり税充当		みどり税非充当
			事業費	(内みどり税)	事業費
取組の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む		5,956	3,682	(1,964)	2,274
① 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り事業		4,847	2,619	(908)	2,227
緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り	樹林地の新規指定：36ha 樹林地の買取り：20ha	4,847	2,619	(908)	2,227
② 良好な森の育成事業		1,010	1,006	(999)	5
森の多様な機能に着目した森づくりの推進	森の維持管理：推進	835	830	(824)	5
指定した樹林地における維持管理の支援	維持管理の助成：170件	176	176	(176)	0
③ 森に関わる多様な機会の創出事業		100	57	(57)	43
森づくりを担う人材の育成	森づくりを担う人材の育成：推進 広報誌等での森づくり活動に関する情報発信：4回	14	14	(14)	0
森づくり活動団体への支援	森づくり活動団体への支援：30団体 森づくり活動団体への専門家派遣：4団体 チップー貸出し：推進	14	13	(13)	1
森に関わるきっかけづくり	市内大学や関係団体などと連携したイベントや、区主催による地域の森でのイベントの実施：36回	65	24	(24)	42
森の多様な楽しみづくり	森の広報展開：推進	6	6	(6)	0
取組の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる		1,065	821	(355)	244
① 良好な農景観の保全事業		228	79	(79)	148
水田の保全	水田保全面積：115ha 水源確保施設・水路の整備：5件	106	47	(47)	59
特定農業用施設保全契約の締結	制度運用	2	0	(0)	2
農景観を良好に維持する活動の支援	集団農地維持活動団体：60団体 農地縁辺部への植栽：15件 農景観保全整備：8件 緑肥作物等による環境対策：4ha 共同利用設備等の支援：5件	101	13	(13)	87
多様な主体による農地の利用促進	遊休農地の還元支援：0.6ha	19	19	(19)	0
② 農とふれあう場づくり事業		779	742	(276)	37
様々な市民ニーズに合わせた農園の開設	様々な市民ニーズに合わせた農園の開設 【内訳】 収穫体験農園：2.0ha 市民農園：1.0ha 農園付公園：0.9ha	747	742	(276)	5
市民が農を楽しむ支援する取組の推進	横浜ふるさと村、恵みの里等で農体験教室などの実施：90回 コーディネーター派遣：10件 市民農業大学講座：35回 家族で学ぶ農体験講座の開催：6回	32	0	(0)	32

(単位：百万円)

事業と取組	主な取組内容と事業量	総額	みどり税充当		みどり税 非充当
			事業費	(内みどり税)	事業費
③身近に農を感じる地産地消の推進事業		48	0	(0)	48
地産地消にふれる機会の拡大	直売所・青空市等の支援：57件 緑化用苗木等の配布：25,000鉢 情報発信・PR活動（情報誌などの発行）：7回	48	0	(0)	48
④市民や企業と連携した地産地消の展開事業		10	0	(0)	10
地産地消を広げる人材の育成・支援	はまふうどコンシェルジュの活動支援等：30件 地産地消ネットワーク交流会の開催：1回	6	0	(0)	6
市民や企業等との連携	市民や企業等との連携：15件 学校給食での市内産農産物の一斉供給：推進 料理コンクールの開催：1回	4	0	(0)	4
取組の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる		1,465	960	(910)	505
①まちなかでの緑の創出・育成事業		598	557	(507)	41
シンボリックな緑の創出・育成	緑の創出：5か所 緑の維持管理：推進	98	64	(14)	34
街路樹による良好な景観づくり	18区で推進	460	460	(460)	0
公開性のある緑空間の創出支援	推進	22	18	(18)	4
建築物緑化保全契約の締結	制度運用	1	0	(0)	1
名木古木の保存	推進	18	16	(16)	2
②緑や花あふれる地域づくり事業		241	117	(117)	124
地域緑のまちづくり	新規：3地区 その他：4地区	106	106	(106)	0
地域に根差した緑や花の楽しみづくり	緑や花を身近に感じる各区の取組：18区で推進	115	0	(0)	115
人生記念樹の配布	8,000本配布	20	11	(11)	9
③子どもを育む空間での緑の創出・育成事業		89	15	(15)	74
保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成	緑の創出：20か所 芝生等の維持管理：推進	89	15	(15)	74
④緑や花による魅力・賑わいの創出・育成事業		536	270	(270)	266
都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり	緑花による魅力ある空間づくり：推進	536	270	(270)	266
効果的な広報の展開		15	0	(0)	15
①市民の理解を広げる広報の展開事業		15	0	(0)	15
—	—	15	0	(0)	15
総計		8,501	5,463	(3,229)	3,038

※四捨五入の関係により、合計が一致しないことがあります。

債務負担行為

新たに債務負担行為をするもの

事 項	期 間	限 度 額
緑地施設修繕工事請負契約	令和7年度	限 度 額 11,000 千円

(1)	樹林地保全創造費 (横浜みどり税充当) 1款1項1目	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度財源内訳			
					国・県 千円	市債 千円	その他 千円	一般 千円
		3,682,176	4,005,024	△322,848	561,770	1,150,000	1,970,406	—

緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り、市民の森等や都市公園内のまとまった樹林を対象とした保全管理計画に基づく森づくりの推進、緑地保全制度により指定された樹林地における維持管理の支援、森に関するイベントや講座の実施などを行います。

1 まとまりのある樹林地の保全・活用 3,682,176千円(4,005,024千円)

(1) 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り事業 2,619,393千円(3,313,699千円)

ア 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り 2,619,393千円(3,313,699千円)

緑地保全制度の地区指定を積極的に進めるとともに、特別緑地保全地区等の指定地で、土地所有者の不測の事態等による買入れ申し出に対応します。

- ・新規指定面積：36ha(1款2項1目と合わせた面積)
- ・買取見込面積：20ha(1款2項1目と合わせた面積)
- ・保全した樹林地の整備(初期整備、樹林地の施設改良、法面の安全対策)

(2) 良好な森の育成事業 1,005,774千円(641,795千円)

ア 森の多様な機能に着目した森づくりの推進 830,274千円(467,795千円)

市有樹林地及び都市公園内のまとまった樹林を対象に、生物多様性の保全、防災・減災など森が持つ多様な機能が発揮できるように、利用者や樹林地周辺の安全にも配慮しながら、良好な森づくりを進めます。

イ 指定した樹林地における維持管理の支援 175,500千円(174,000千円)

緑地保全制度により指定した樹林地において、土地所有者が行う樹林地外周部の危険・支障樹木のせん定・伐採や草刈りなどの維持管理作業等の費用、樹林地内部の倒木や枯木の撤去処分、不法投棄防止のためのフェンス設置、土留めの設置費用の一部を助成します。さらに、台風の暴風による被害を受けた際に所有者が行う倒木の除去作業や処分にかかる費用の一部を助成します。

- ・維持管理の助成：150件(通常管理)
- ：20件(台風被害)

(3) 森に関わる多様な機会の創出事業 57,009千円(49,530千円)

ア 森づくりを担う人材の育成 14,370千円(14,480千円)

イ 森づくり活動団体への支援 13,454千円(13,300千円)

- ・森づくり活動団体への支援：30団体
- ・チップターの貸出しと間伐材を活用した樹名板作成

ウ 森に関わるきっかけづくり 23,675千円(21,750千円)

横浜の森について理解を深め、森づくり活動などへの参加にもつなげていくため、各区や市内大学などと連携したイベントや講座の開催、小学校と連携し森を活用した体験や学習ができる仕組みづくりや、市民が気軽に森を訪れ、楽しむ環境づくりのため、市民の森・ふれあいの樹林のガイドマップの作成等の情報発信を行います。

- ・イベントの実施及び広報活動：36回

エ 森の多様な楽しみづくり 5,510千円(-)

保全した森を、「市民の森」として開園し、自然に親しみ、憩える場として活用していきます。

樹林地周辺の施設や環境等を踏まえた利活用計画の検討や地域における多様な森の利活用を進めます。

(2)	都市農地保全費 (横浜みどり税充当) 1款1項2目	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度財源内訳			
					国・県 千円	市債 千円	その他 千円	一般 千円
		821,350	487,104	334,246	31,000	435,000	355,350	—

景観形成や生物多様性の保全、雨水貯留などのグリーンインフラとしての農地が持つ環境面での役割に着目した「良好な農景観の保全」や、「農とふれあう場づくり」を重点的に展開し、市民が身近に農を感じる場をつくります。

1 農に親しむ取組の推進 821,350千円(487,104千円)

(1) 良好な農景観の保全事業 79,350千円(86,710千円)

ア ☆水田の保全 47,200千円(39,900千円)

土地所有者が水田を維持し、水田景観の保全や多様な機能が発揮できるよう、水稲作付を10年間継続することを条件に奨励金を交付します。また、水田の維持・拡大を目指す耕作者への維持管理支援を行います。

・水田保全面積：115.0ha

イ 農景観を良好に維持する活動の支援 13,300千円(24,150千円)

周辺環境と調和した良好な農景観の維持を図るため、農地周辺の不法投棄対策として、夜間警備のパトロール等を実施します。また、緑肥作物等の栽培を奨励し、農地からの土ぼこりの発生防止を図ります。

・緑肥作物等栽培奨励：4.0ha

ウ 多様な主体による農地の利用促進 18,850千円(22,660千円)

意欲ある農家や新規参入者など多様な主体へ農地を貸し付けて、農地の保全につながるように、6年間以上の貸借設定をしている農地所有者に奨励金を交付します。また、遊休化している農地の復元を支援します。

・農地の長期貸付により保全されている農地：7ha

・遊休農地の復元：0.6ha

(2) 農とふれあう場づくり事業 742,000千円(400,394千円)

ア ☆様々な市民ニーズに合わせた農園の開設 742,000千円(400,394千円)

・野菜の収穫や果物のもぎとりなどを気軽に体験することができる収穫体験農園の開設に必要な施設整備等を支援します。

収穫体験農園の開設支援：2.0ha

・土地所有者による維持管理が難しくなった農地等を、市が買い取るなどして、市民が農作業を楽しめる農園を主とした都市公園を整備します。また、都心部において、公園内での農園整備の検討を進めます。

農園付公園の開設：0.9ha（設計及び工事）

なお、従来から実施している、利用者が農家から指導を受けることができる「栽培収穫体験ファーム」や、児童が農家から野菜や米づくりを学ぶ「環境学習農園」、また、利用者が自由に農作業を楽しめる「認定市民菜園」などの多様な市民農園の開設の支援については、1款2項2目の都市農業育成費（横浜みどり税非充当事業）で対応します。

(3)	緑化推進創造費 (横浜みどり税充当) 1款1項3目	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度財源内訳			
					国・県 千円	市債 千円	その他 千円	一般 千円
		959,515	1,157,666	△198,151	15,000	35,000	909,515	—

緑があふれる都市で暮らす豊かさを市民が「実感」できるよう、市民生活の身近な場所や多くの人が訪れる場所で、地域の良好な景観形成や賑わい創出につながる緑の創出・支援を推進します。

- 1 市民が実感できる緑や花の創出・育成** 557,460千円(695,800千円)
- (1) まちなかでの緑の創出・育成事業 557,460千円(695,800千円)
- ア シンボリックな緑の創出・育成 63,500千円(78,000千円)
多くの市民の目にふれる場所で、緑豊かな空間を創出し、良好に育成します。
- イ 街路樹による良好な景観づくり 460,000千円(582,000千円)
駅周辺や各区の主要な路線を中心に、多くの市民の目にふれ、街並みの美観向上に寄与する街路樹を良好に育成します。また、地域で愛されている桜並木等の再生を行います。これらを通して、街路樹による良好な景観づくりを推進します。
- ウ 公開性のある緑空間の創出支援 18,000千円(19,000千円)
多くの人が訪れる場所における、公開性のある緑化などを行う市民・事業者に対し、その費用の一部を助成します。
- エ 名木古木の保存 15,960千円(16,800千円)
地域住民に古くから町の象徴として親しまれ、故事、来歴等のある樹木を保存すべき樹木として指定します。また、指定木の維持管理に必要な費用の一部を助成します。
- 2 ガーデンシティ横浜の更なる推進** 402,055千円(461,866千円)
- (1) 緑や花があふれる地域づくり事業 117,055千円(111,366千円)
- ア 地域緑のまちづくり 105,655千円(89,686千円)
地域が主体となり、住宅街や商店街、オフィス街、工場地帯など様々な街で、地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、計画を実現していくための取組を支援します。
- イ 人生記念樹の配布 11,400千円(21,680千円)
人生の節目の記念に希望した市民を対象に苗木を配布することで、市民が緑に対する愛着を深め、植樹することにより都市緑化の推進に寄与します。
- (2) 子どもを育む空間での緑の創出・育成事業 15,000千円(14,500千円)
- ア 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成 15,000千円(14,500千円)
・緑の創出(民間):10か所(1款2項3目で公立保育園、小中学校10か所、計20か所)
・芝生等の維持管理に対する支援
- (3) 緑や花による魅力・賑わいの創出・育成事業 270,000千円(336,000千円)
- ア 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり 270,000千円(336,000千円)
山下公園などの都心臨海部や多くの市民が訪れる場所で、観光資源となっている公園や港湾緑地、街路樹、文化施設などの公共空間を相互に連携させ、地域や施設の特性に合わせた季節感ある緑花による場づくりを集中的に展開します。
あわせて、いつ訪れても緑や花で彩られた魅力ある街を目指し、創出した質の高い緑花を良好に育てます。

(4)	樹林地保全費 (横浜みどり税非充 当) 1 款 2 項 1 目	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度財源内訳			
					国・県 千円	市債 千円	その他 千円	一般 千円
		2,274,288	3,833,065	△1,558,777	529,420	1,261,000	120	483,748

森のもつ多様な役割に配慮しながら、土地の所有者や地域住民など、市民・事業者とともにその保全や育成をより一層進めます。

緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り、市民の森等を対象とした保全管理計画に基づく森づくりの推進、ウェルカムセンターを活用した森に関する情報発信などを行います。

1 まとまりのある樹林地の保全・活用 2,274,288 千円 (3,833,065 千円)

(1) 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り事業 2,227,199 千円 (3,621,051 千円)

ア 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り 2,227,199 千円 (3,621,051 千円)

市内に残る貴重な緑地について、緑地保全制度の地区指定を積極的に進めるとともに、特別緑地保全地区等の指定地で、土地所有者の不測の事態等による買入れ申し出に対応します。

- ・新規指定面積： 36ha (1 款 1 項 1 目と合わせた面積)
- ・買取見込面積： 20ha (1 款 1 項 1 目と合わせた面積)
- ・保全した樹林地の整備 (初期整備、樹林地の施設改良、法面の安全対策)
- ・緑地保存奨励

(2) 良好な森の育成事業 4,585 千円 (171,083 千円)

ア 森の多様な機能に着目した森づくりの推進 4,585 千円 (171,083 千円)

市有樹林地及び都市公園内のまとまった樹林を対象に、生物多様性の保全、防災・減災など森が持つ多様な機能が発揮できるように、利用者や樹林地周辺の安全にも配慮しながら、良好な森づくりを進めます。

(3) 森に関わる多様な機会の創出事業 42,504 千円 (40,931 千円)

ア 森づくり活動団体への支援 1,000 千円 (1,000 千円)

維持管理作業の際に発生した間伐材などを有効活用するための研修を実施します。

イ 森に関わるきっかけづくり 41,504 千円 (39,931 千円)

ウェルカムセンターにおける展示解説や自然体験、環境学習の機会の提供等を、企業の CSR 活動などと連携しながら実施し、市民が森について理解を深めるための取組を推進します。

ウェルカムセンターでの森のマナーアップにつながるイベント等：10 回

ウェルカムセンター 5 館

- ・自然観察センター (横浜自然観察の森) <栄区>
- ・にいほる里山交流センター (新治里山公園) <緑区>
- ・虹の家 (舞岡ふるさと村) <戸塚区>
- ・四季の家 (寺家ふるさと村) <青葉区>
- ・環境活動支援センター 交流スペース<保土ヶ谷区>

(5)	都市農業育成費 (横浜みどり税非 充当) 1款2項2目	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度財源内訳			
					国・県 千円	市債 千円	その他 千円	一般 千円
		243,525	292,507	△48,982	—	—	2,765	240,760

新鮮で安心な農畜産物の生産のほか、グリーンインフラとしての雨水貯留・浸透等の役割や、レクリエーションなど、多様で公益的な機能を持つ農地を将来にわたって保全するための取組を進めます。また、身近な場所に農地がある横浜の都市農業の特徴を生かし、新鮮な農畜産物を購入できる直売所の開設支援等を通じた地産地消にふれる機会を拡大します。

- 1 農に親しむ取組の推進** 185,659千円(217,029千円)
(1) 良好な農景観の保全事業 148,211千円(170,701千円)
ア 水田の保全 58,909千円(62,142千円)

良好な水田景観を保全するために、まとまりのある水田がある地区を対象に、水源確保施設や水路等の整備を支援します。

- ・水源確保施設・水路の整備：5件

- イ 特定農業用施設保全契約の締結** 1,961千円(1,982千円)

農家と横浜市が「所有農地等を10年間適正に管理すること」と「農業生産に不可欠な農業用施設を10年間継続して利用すること」を契約して、横浜市が当該施設の敷地を「特定農業用施設用地」に指定し、固定資産税・都市計画税を軽減することで、農地の保全を図ります。

- ウ 農景観を良好に維持する活動の支援** 87,341千円(106,577千円)

良好な農景観を形成するため、水路等の清掃活動や農地縁辺部への植栽、水源を確保するための井戸の整備を支援します。また、農地周辺の環境を良好に維持するため、土砂流出の防止対策を支援します。

さらに、せん定枝の堆肥化に必要な共同利用設備等の整備を支援します。

- ・集団農地維持活動団体：60団体
- ・農地縁辺部への植栽への支援：15件
- ・農景観保全整備（井戸整備と土砂流出防止対策）：8件
- ・共同利用設備等の支援：5件

- (2) 農とふれあう場づくり事業** 37,448千円(46,328千円)

- ア 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設** 5,340千円(17,974千円)

利用者が農家から指導を受けることができる「栽培収穫体験ファーム」や、児童が農家から野菜や米づくりを学ぶ「環境学習農園」、また、利用者が自由に農作業を楽しめる「認定市民菜園」など、多様な市民農園の開設を支援します。

- ・市民農園の開設支援：1.0ha

なお、市民の皆様が、野菜の収穫や果物のもぎとりなどを気軽に体験できる「収穫体験農園」や、「農園付公園」は、1款1項2目の都市農地保全費（横浜みどり税充当事業）で対応します。

イ ☆市民が農を楽しみ支援する取組の推進 32,108 千円(28,354 千円)

- ・「横浜ふるさと村」や「恵みの里」での農体験教室の開催等の取組を推進します。
農体験教室などの実施支援：90 回
- ・市内全域で農体験に関する様々相談に応じるため、専門知識やスキルを有するコーディネーターを派遣します。
コーディネーター派遣：10 件
- ・市民農業大学講座や家族で学ぶ農体験講座を開催し、市民が栽培技術などを学ぶ場を提供します。
市民農業大学講座の開催：1 年次 35 回、2 年次 10 回
家族で学ぶ農体験講座の開催：6 回

2 「横浜農場」の展開による地産地消の推進 57,866 千円(75,478 千円)

(1) 身近に農を感じる地産地消の推進事業 47,600 千円(60,788 千円)

ア 地産地消にふれる機会の拡大 47,600 千円(60,788 千円)

- ・直売所や加工所に必要な設備の導入や運営を支援します。また、市民が楽しみながら農畜産物を購入できる青空市やマルシェの開催等を支援します。
直売所等の支援：17 件、青空市・マルシェ等の開催支援：40 件
- ・市内産の苗木や花苗を市民への配布や公共施設、農地の縁辺部への植栽に活用し、市民が市内産の植木や草花に親しめる機会を創出します。
緑化用苗木等の生産・配布：25,000 鉢
- ・情報誌などの制作・発行や地産地消に関する区局等での取組支援、横浜の農を PR するイベントの実施など、市民が地産地消を身近に感じられる取組を推進します。
- ・横浜の農の魅力を発信するため、「横浜農場」を活用したプロモーションを行います。

(2) 市民や企業と連携した地産地消の展開事業 10,266 千円(14,690 千円)

ア 地産地消を広げる人材の育成・支援 6,366 千円(4,490 千円)

- ・地産地消を広げるはまふうどコンシェルジュの育成講座を開催します。
- ・直売を行う生産者やよこはま地産地消サポート店、はまふうどコンシェルジュ、地産地消に取り組む市民・企業等をつなげる交流会等を開催します。

イ 市民や企業等との連携 3,900 千円(10,200 千円)

- ・生産者や企業等のニーズを集約し、両者のニーズをマッチングすることで、地産地消を広げます。
市民や企業等との連携：15 件
- ・市内の中小企業等を対象に、地産地消に関するビジネスプランを策定するための講座を開催します。また、補助対象に選定された事業の開始に係る経費の補助を実施します。
- ・小学校の給食メニューにおける市内産農産物の利用促進や食育の推進を図るため、企業等と連携して学校給食での市内産農産物の一斉供給や小学生を対象とした料理コンクールを開催します。
料理コンクールの開催：1 回

(6)	緑化推進費 (横浜みどり税非 充当)	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	市債	その他	一般
	1 款 2 項 3 目	千円 505,400	千円 582,433	千円 △77,033	千円 —	千円 —	千円 —	千円 505,400

緑があふれる都市で暮らす豊かさを、市民が「実感」できるよう、取組を推進します。
 公有地においては、公共施設から率先して、質の高い緑を創出し、民有地においては、多くの市民の目にふれる場所でシンボリックな緑の創出に取り組みます。
 また、市民の身近な場所で、緑や花に親しむきっかけづくりを推進します。

- 1 市民が実感できる緑や花の創出・育成** 41,000 千円 (16,285 千円)
- (1) まちなかでの緑の創出・育成事業 41,000 千円 (16,285 千円)
- ア シンボリックな緑の創出・育成 34,000 千円 (13,000 千円)
 各区の主要な公共施設・公有地において、緑を充実させる取組を推進します。
- イ 公開性のある緑空間の創出支援 4,000 千円 (1,205 千円)
 多くの人を訪れる場所における、公開性のある緑化などを行う市民・事業者に対し、その費用の一部を助成します。
- ウ 建築物緑化保全契約の締結 750 千円 (800 千円)
 緑の環境をつくり育てる条例や緑化地域制度等に定める基準以上の緑化を行い、保全することに対し、建築物所有者（管理者）の建築物の敷地に対する固定資産税・都市計画税を軽減します。
- エ 名木古木の保存 2,250 千円 (1,280 千円)
 地域住民に古くから町の象徴として親しまれ、故事、来歴等のある樹木を保存すべき樹木として指定します。また、指定木の維持管理に必要な費用の一部を助成します。
- 2 ガーデンシティ横浜の更なる推進** 464,400 千円 (566,148 千円)
- (1) 緑や花があふれる地域づくり 123,950 千円 (128,580 千円)
- ア 地域に根差した緑や花の楽しみづくり 115,350 千円 (126,750 千円)
 緑や花に親しむ市民の盛り上がりを醸成していくため、地域をはじめとする多様な主体と連携した緑や花に関するイベントの開催や、緑や花を育む活動の支援など、地域に根差した各区での取組やそれを担う人材育成等を推進します。また、地区センター等の地域に身近な公共施設・公有地において、緑を充実させる取組を推進し、良好に育成します。
- イ 人生記念樹の配布 8,600 千円 (1,830 千円)
 人生の節目の記念に希望した市民を対象に苗木を無料配布することで、市民が緑に対する愛着を深め、植樹することにより都市緑化の推進に寄与します。
- (2) 子どもを育む空間での緑の創出事業 74,000 千円 (75,000 千円)
- ア 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成 74,000 千円 (75,000 千円)
 ・緑の創出（公立）：10 か所（1 款 1 項 3 目で民間保育園、幼稚園、小中学校 10 か所、計 20 か所）
 ・芝生等の維持管理に対する支援
- (3) 緑や花による魅力・賑わいの創出事業 266,450 千円 (362,568 千円)
- ア 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり 266,450 千円 (362,568 千円)
 山下公園などの都心臨海部やガーデンネックレス横浜の会場となっている里山ガーデン（よこはま動物園ズーラシア隣接）など、多くの市民が訪れる場所で、観光資源となっている公園や港湾緑地、街路樹、文化施設などの公共空間を相互に連携させ、地域や施設の特徴に合わせた季節感ある緑花による場づくりを集中的に展開します。
 また、いつ訪れても緑や花で彩られた魅力ある街を目指し創出した質の高い緑花を良好に育てます。

(7)	広報推進費 (横浜みどり税非 充当) 1 款 2 項 4 目	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度財源内訳			
					国・県 千円	市債 千円	その他 千円	一般 千円
		15,135	30,120	△14,985	—	—	—	15,135

横浜みどりアップ計画の取組の内容や実績について、より多くの市民・事業者の皆様に理解されるとともに、緑を楽しみ、緑に関わる活動に参加していただけるよう、広報媒体の特性を生かし、効果的な情報発信を進めていきます。

1 市民の理解を広げる広報の展開事業 **15,135 千円 (30,120 千円)**

横浜みどりアップ計画の取組と横浜みどり税について、各種メディア等を活用した広報を行います。

- ・ 広報よこはま等の広報紙への記事掲載や実績報告書の概要版リーフレットの市内配布
- ・ マスコットキャラクターを活用した広報動画等の SNS 発信や交通広告
- ・ イベントへの出展、広報
- ・ 事業実施箇所での表示
- ・ 横浜みどりアップ計画の取組に関するアンケート調査

(8)	みどり基金積立金 1 款 3 項 1 目	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度財源内訳			
					国・県 千円	市債 千円	その他 千円	一般 千円
		2,000	1,000	1,000	—	—	2,000	—

1 みどり基金積立金 **2,000 千円 (1,000 千円)**

横浜市みどり基金の運用から生ずる収益を基金に積み立てます。

(9)	元金 1 款 4 項 1 目	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度財源内訳			
					国・県 千円	市債 千円	その他 千円	一般 千円
		2,049,601	1,934,085	115,516	—	—	—	2,049,601

1 市債金会計繰出金 **2,049,601 千円 (1,934,085 千円)**

みどり保全創造事業のために発行した市債の元金を市債金会計に繰り出します。

(10)	利子 1 款 4 項 2 目	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度財源内訳			
					国・県	市債	その他	一般
					千円	千円	千円	千円
		261,033	203,612	57,421	—	—	—	261,033

1 市債金会計繰出金 **261,033 千円(203,612 千円)**
みどり保全創造事業のために発行した市債の利子を市債金会計に繰り出します。

(11)	公債諸費 1 款 4 項 3 目	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度財源内訳			
					国・県	市債	その他	一般
					千円	千円	千円	千円
		44,387	46,075	△1,688	—	—	—	44,387

1 市債金会計繰出金 **44,387 千円(46,075 千円)**
みどり保全創造事業のために発行した市債の発行手数料等を市債金会計に繰り出します。

(12)	予備費 1 款 5 項 1 目	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度財源内訳			
					国・県	市債	その他	一般
					千円	千円	千円	千円
		1,000	1,000	—	—	—	1,000	—

1 予備費 **1,000 千円(1,000 千円)**
みどり保全創造事業費会計の予備費を計上します。